

地域密着型金融推進の取組み状況について

平成24年6月

家庭の銀行



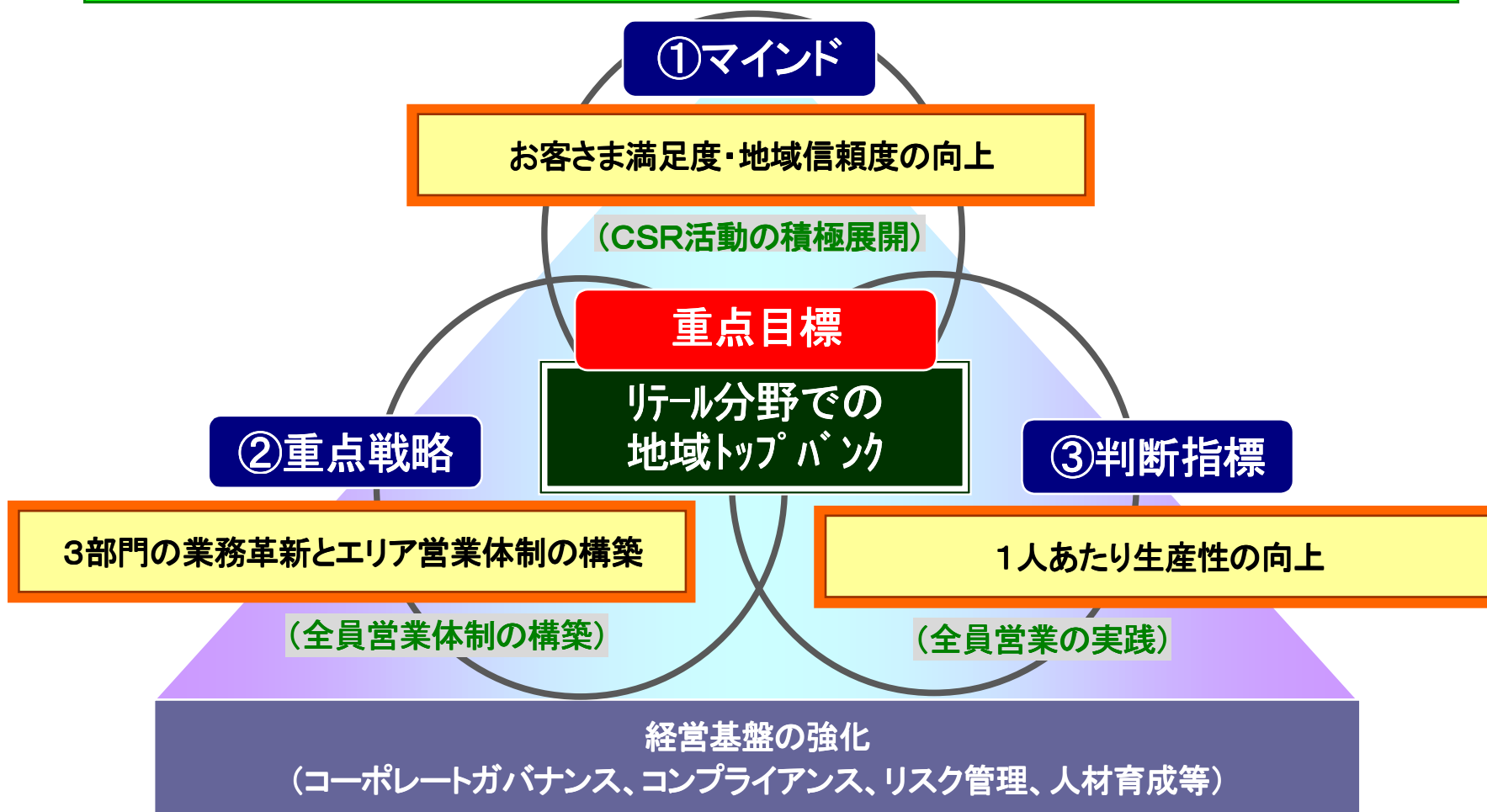
THE MICHINOKU BANK, LTD.

地域密着型金融推進に対する基本的な考え方

- 地域のお客さまの多種多様なニーズにお応えするため、より質の高いサービスの提供を目指し、各種新商品等の開発や産学官との連携をはじめ、営業体制の整備や人材育成に重点的に取り組むことで、地域に根ざす銀行として、地域経済活性化や地域貢献への取り組みを積極的に推進してまいります。
- 平成24年4月より、新たに第三次中期経営計画『地域密着型金融の実践（コンサルティング機能の強化）～全員営業態勢の確立～』がスタートしております。3つの柱、①CSR活動の積極展開による「お客さま満足度・地域信頼度の向上」、②全員営業体制の構築による「3部門の業務革新とエリア営業体制の構築」、③全員営業の実践による「1人あたりの生産性向上」を軸に基本戦略を定め、『リテール分野での地域トップバンク』を重点目標として、様々な施策を展開してまいります。

第三次中期経営計画概要

《テーマ》 地域密着型金融の実践（コンサルティング機能の強化）
～ 全員営業態勢の確立 ～



みちのく銀行の決意

みちのく銀行は、頑張っている地域の皆さまをこれまで以上に総力を挙げて応援します。

いま世界は、日本は、そして地域の経済は、未曾有の難局に直面しています。

みちのく銀行は、皆さまに育てられ、成長してきた銀行です。

「ふるさと」が底の見えない難局に突入している今こそ、頑張っている皆さまを総力を挙げて応援します。

何でも相談してください。

本当の問題解決のため、時には厳しいことも言わせていただくかも知れませんが、お客さまのご要望とは異なるご提案をさせていただくこともあると思います。

でも、我々はお客さまにとって何が良いのかを一所懸命に考えます。

地域に根ざした金融機関である我々は決して逃げません。ご相談は真正面から本気で受け止め、「真の問題解決」に向け総力を挙げて取り組みます。

「ネアカ・のびのび・へこたれず」をモットーに、皆さまとともに頑張ります。

「ふるさと」の明るい未来を引き寄せるために。

平成20年10月

みちのく銀行

頭取 **杉本康雄**
役職員一同

顧客企業に対するコンサルティング機能の発揮

(1) 日常的・継続的な関係強化と経営の目標や課題の把握分析

顧客企業との信頼関係の構築に向け、顧客企業の本業支援に取り組むべく、事業内容や経営課題を理解すること、および役員から営業店担当者に至るまで情報の共有を徹底することに加え、役員や本部による営業店の支援、外部機関との連携強化、および行員のスキルアップに向けた行内研修・外部研修を実施しております。

(2) 最適なソリューションの提案

① 創業・新事業支援【創業・新事業開拓を目指す企業への支援】

創業・新事業開拓を目指す顧客企業に対し、技術力・販売力や経営者の資質等を踏まえて新事業の価値を見極め、公的助成制度の紹介やファンドの活用を含めて事業立ち上げ時の資金需要に対応することにより、創業および新事業に対する支援を行っております。

○「あおもりクリエイティブファンド」への出資および活用

青森県における産業育成および地域経済活性化を目的とした地域ファンドへの出資により、新事業・新技術開発に取り組んでいる事業者の支援を行っております。

《平成24年3月末投資実績 12先1,055百万円》
 (うち当行取引先11先1,030百万円)

○各種制度資金等の有効活用

信用保証協会付制度資金や政府系金融機関との協調融資等を活用し、創業・新事業支援を行っております。

《平成23年度実績 49件1,276百万円》

○地元大学等との産学連携

八戸工業大学・弘前大学・八戸工業高等専門学校と産学連携協定を締結し、事業者と大学・高専との仲介役となり、創業・新事業に係る技術課題を解決するよう取り組んでおります。

《平成23年度紹介実績 1先八戸工業大学へ》

※平成23年5月産学官金連携ネットワーク

「イノベーション・ネットワークあおもり」へ参画

○「あおもり農商工連携支援基金」の活用

当基金に対し150百万円の無利子貸付を実施するとともに、審査委員1名を派遣して助成対象先の決定に携わるなど、農商工連携事業による創業および経営革新等への支援を行っております。

《平成23年度紹介実績 2先》

顧客企業に対するコンサルティング機能の発揮

②ビジネスマッチング【成長段階における更なる飛躍が見込まれる企業への支援】

ビジネスマッチングによる支援として、取引先が持つ様々な事業ニーズ情報を本部・営業店で共有し、連携を図ることにより、平成23年度は26先20件の面談が実現し、うち17先12件の商談が成立し、新しい商流が発生いたしました。

また、特に「食」関連事業先への販路拡大機会の提供として、商談会・展示会の企画・参画サポートを行い、延べ159先の出展に結びつけた結果、76先が商談を行い、45先91件の契約が成立いたしました。

内 容	実施時期
ギフトカタログプロジェクト 「地方からの贈り物(vol.2)」	6月発刊
「青森の正直」合同展示商談会	7月
地方銀行フードセレクション2011	11月
「津軽海峡食景色 青森・函館商談会 inKIHACHI」	11月
ギフトカタログプロジェクト 「地方からの贈り物(vol.3)」	12月発刊



地方銀行フードセレクション2011

顧客企業に対するコンサルティング機能の発揮

③経営改善支援【経営改善・事業再生等が必要な企業への支援】

【経営改善支援への取組み】

営業店を主体とし、融資部企業支援室・審査部・与信企画部がサポートする経営改善支援先に対し、密度の高いコミュニケーションを通じた実態把握や業況把握を踏まえ、積極的に経営相談や経営指導および経営改善に向けた支援に取り組んでおります。

【事業再生支援への取組み】

融資部企業支援室の積極関与と、外部コンサルタントや公認会計士、弁護士等との連携、中小企業再生支援協議会、整理回収機構等の活用により、スピード感と確実性のある事業再生支援に取り組んでおります。

《平成23年度中小企業再生支援協議会の活用による再生計画策定先 4先》

※うち1先は、当行初となるデット・デット・スワップを手法とするものです。

経営改善支援、事業再生支援への取組みの結果、平成23年度のランクアップ実績は22先となりました。

経営改善支援等の取組み実績（平成23年4月～平成24年3月）

(単位:先数)

	期初債務者数 A	うち 経営改善支援 取組み先 α	αのうち			経営改善支援 取組み率 = α/A	ランクアップ率 = β/α	再生計画 策定率 = δ/α
			αのうち期末に債務者区分がランクアップした先数 β	αのうち期末に債務者区分が変化しなかった先 γ	αのうち再生計画を策定した先数 δ			
正常先 ①	4,538	2		2	2	0.0%		100.0%
要注意 先								
うちその他要注意先 ②	2,338	223	17	188	184	9.5%	7.6%	82.5%
うち要管理先 ③	17	5	1	4	3	29.4%	20.0%	60.0%
破綻懸念先 ④	376	54	4	43	42	14.4%	7.4%	77.8%
実質破綻先 ⑤	119	14		13	4	11.8%	0.0%	28.6%
破綻先 ⑥	34	2		1	1	5.9%	0.0%	50.0%
小計(②～⑥の計)	2,884	298	22	249	234	10.3%	7.4%	78.5%
合計	7,422	300	22	251	236	4.0%	7.3%	78.7%

顧客企業に対するコンサルティング機能の発揮

④事業承継支援【事業承継が必要な企業への支援】

当行では取引先の事業承継ニーズに対応するため、経営承継・資産承継の両面からのサポート体制を構築し、円滑な事業承継に向けた取組みを実施しております。

【みちのく銀行経営塾の実施】

次世代を担う後継者・若手経営者を対象とした「みちのく銀行経営塾」(開催期間:1年間、全12回)の第2期生(24名)の講座を平成23年10月より実施しております。また、当経営塾以外に異業種間交流の機会等の提供を通じて、地域企業の人的承継の支援を図っております。



【外部専門機関等の連携による取組み】

事業承継ニーズへの具体的取組みとして、本部担当者及び外部専門機関との連携により、平成23年度は16件の提案を実施しております。

地域の面的再生への積極的な参画

①東日本大震災からの復興に向けた支援

平成23年3月11日に発生した東日本大震災以降、一刻も早い復旧復興に向けて地域の皆さまとともに、この未曾有の危機を乗り越えるべく、全役職員が総力を挙げて取り組んでおります。

平成23年度の取組み

3月	<ul style="list-style-type: none"> ・地域復興支援チームの結成 ・被災者救済融資制度の取扱い ・災害お見舞い義援金の受付 ・みちのく銀行グループによる義援金（総額1億5,000万円）の寄贈 ～寄贈先：青森県、八戸市、三沢市、階上町、おいらせ町、久慈市 ・青森県へ災害用毛布（1,000枚）を寄贈
4月	<ul style="list-style-type: none"> ・「東日本大震災」により被災された方の取引銀行以外での預金払戻し（代理払戻し）の取扱い ・みちのく銀行グループ役員による義援金（約425万円）の寄贈 ～寄贈先：日本赤十字社
6月	<ul style="list-style-type: none"> ・「復興支援セミナー」の開催 ・「青森ブランド」食品 販路開拓セミナーの開催 ・『がんばろう青森！「青森の正直」合同展示商談会』の開催
7月	<ul style="list-style-type: none"> ・「青森県内企業向け節電対策セミナー」の開催 ・平成24年度入行予定者の夏採用募集の開始 ・日本フィルハーモニー交響楽団 被災地訪問コンサートの開催
8月	<ul style="list-style-type: none"> ・あしなが育英会への寄付金の贈呈（275万円） ・東日本大震災・遺児支援「スマイル応援定期預金」の発売 <p>※東日本大震災により遺児となられた子供の進学支援の一環として、あしなが育英会に寄付いたします。</p>
10月	<ul style="list-style-type: none"> ・「個人債務者の私的整理に関するガイドライン」に基づいた「ローン相談会」の開催

被災地訪問コンサート



地域の面的再生への積極的な参画

②「津軽海峡クラスター会議」の設立

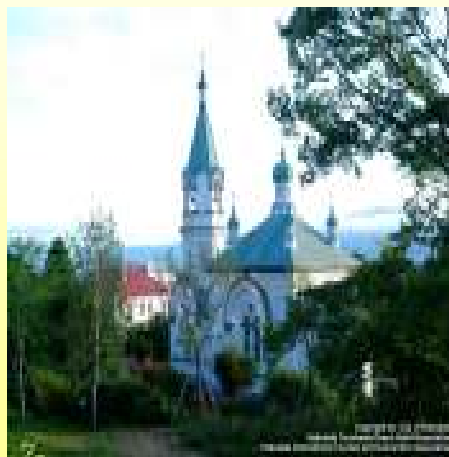
平成27年度の北海道新幹線(新青森駅—新函館駅(仮称))開業を見据え、観光を核とした地域経済の活性化を実現するため、昨年4月、当行、弘前商工会議所、函館商工会議所による「津軽海峡観光クラスター会議」を設立しております。

観光資源に恵まれた弘前市と函館市が連携・協力することで、他県にはない質の高い観光を創出し、津軽海峡経済圏の産業振興のけん引役を目指してまいります。



弘前城(弘前市)

函館ハリストス正教会(函館市)



平成23年度の取組み

- クラスター会議2回開催
(平成23年4月・7月)
- ワーキンググループ5回開催
(平成23年6月～平成24年3月)
- 交流事業(「ひろさき街歩き」体験、「弘前バル街」体験)
(平成23年7月)
- 弘前市長が函館市長を訪問し、広域観光連携で合意
(平成23年9月)
- 「津軽の食と産業まつり」へ函館ブランド出店
(平成23年10月)
- 函館商工会議所部会メンバー23名が弘前を視察
(平成23年10月)
- 青森・弘前・函館合同台湾プロモーション実施
(平成23年12月)
- 「函館クリスマスファンタジー」へ弘前市参加
(平成23年12月)
- 青森・弘前・函館合同台湾トッププロモーション実施
(平成24年2月)

地域の面的再生への積極的な参画

③アグリビジネスへの積極的な取り組み

【アグリビジネス推進チーム】

アグリビジネス推進チーム(本部・営業店)

- 農業経営アドバイザー 11名
- 6次産業化各種プランナー 2名
- ビジネスマッチング担当 3名

情報共有

6次産業化支援・法人成り支援
農商工連携支援・資金調達支援
ビジネスマッチング・財務改善支援

本業支援
融資提案

営業店

ビジネスマッチング
地域密着型支援

地域のお客さま

【地公体との連携】

地域の基幹産業である農業を
「産学官金」一体で振興すべく
県内3地公体と「業務推進協定」
を締結

H23.7月 弘前市・平川市 H24.2月 南部町



【アグリセミナーの実施】

青森県と共催で地元経済を担う
「農業・工業・商業」の経営者を集めた
セミナーを開催



【津軽海峡食景色 青森・函館商談会inKIHACHI 開催】

東京銀座のレストラン「KIHACHI」において、青森県と北海道南の
「食」関連事業者と首都圏のバイヤーとの食事会・商談会を開催



【資金調達支援】

- ABL(動産担保融資)
「食」関連産業への累計実行実績 9件/23億円
(りんご・りんごジュース・米・清酒など)
- 青森県農業信用基金協会保証ローン
・みちのく農業応援ローン平成23年度実行29件/2.8億円
・新スーパーS資金取扱開始(H24.3月～)
- 個人事業者向けフリーローン「事業繁栄」
～農林水産事業者も取扱可

地域の面的再生への積極的な参画

④JR東日本グループとの連携

JR東日本グループが推進している「地域再発見プロジェクト」に賛同し、『上野駅中央改札外グランドコンコース』にオープンした「地域を応援する！地産品ショップ『のもの』」に、当行職員を販売スタッフの一員として、期間限定で派遣いたしました。

『のもの』は、生産者や行政と連携しながら、「地のもの、旬のもの、縁(ゆかり)のもの」といった地域ならではの食を中心とした魅力的な商品を紹介する地産品ショップであり、記念する第1回目で青森県にスポットが当てられたことから、首都圏のお客様に「青森の魅力」をお伝えするとともに、職員が直接、販売に携わることで「お客さま目線の商品選別力」を培うことを目的として参画いたしました。今後、職員が売り場で体得したこの「商品選別力」を「より売れる商品づくり」へのアドバイスとして、取引先・融資先に提供してまいります。



地域や利用者に対する積極的な情報発信

「地域密着型金融推進の取組み状況」について、前年度の活動状況をホームページにて公表するほか、下記のとおり、地域や利用者の皆さまに対して積極的な情報発信に努めてまいります。

年間スケジュール

5月	決算発表
6月	IR説明会(東京)開催 有価証券報告書提出 ミニディスクロージャー誌発行
7月	ディスクロージャー誌発行
8月	第1四半期決算発表 第1四半期報告書提出
10月	アニュアルレポート発行
11月	中間決算発表 第2四半期報告書提出
12月	中間ミニディスクロージャー誌発行
1月	中間ディスクロージャー誌発行
2月	第3四半期決算発表 第3四半期報告書提出

ホームページのご案内



The screenshot shows the homepage of Michinoku Bank. At the top, there is a navigation bar with the bank's name in Japanese and English, and links for 'みちのくQ&A', 'English', 'サイトマップ', and 'テキスト版'. Below this is a search bar and a language selection dropdown. The main navigation menu includes '個人のお客さま', '法人・事業主のお客さま', 'みちのく銀行について', and 'リクルート'. A secondary menu lists 'あひづる', 'かきる', '運用する', 'つかう', 'みちのくダイレクト', 'そなえる', and 'その他のサービス'. The main content area features a large banner with a tree graphic and the text '子どもの未来をつくる銀行へ。' (Bank that creates the future for children). Below the banner, there are several service highlights: '個人のお客さま向け' (For individual customers) with links for 'インターネットバンキングはこちら' and 'セキュリティについて'; '法人のお客さま向け' (For corporate customers) with a link for 'インターネットバンキングはこちら'; and 'ローン予約サービス' (Loan reservation service). At the bottom, there is a notice about the Great East Japan Earthquake: '東日本大震災に関するみちのく銀行からのお知らせ' (Notice from Michinoku Bank regarding the Great East Japan Earthquake).

<http://www.michinokubank.co.jp/>

今後の取組方針

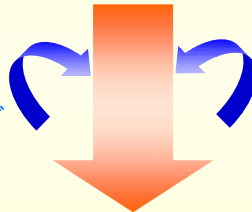
平成24年4月よりスタートした第三次中期経営計画において、『地域密着型金融の実践(コンサルティング機能の強化)』を掲げ、お客さま満足度、地域信頼度の高い『リテール分野での地域トップバンク』を目指し、地域経済活性化や地域貢献への取組みを積極的に推進してまいります。

地域密着型金融推進の取組方針

コンサルティング機能の発揮

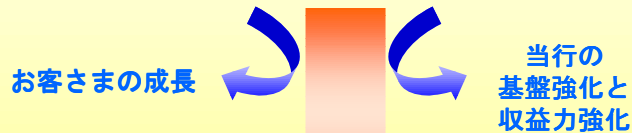
お客さまの事業内容や経営課題の把握
(「全員営業」による訪問強化と信頼関係の構築)

- ＜本部サポート＞
- 各種法人プロダクト
 - ・ビジネスマッチング
 - ・アグリビジネス
 - ・事業承継 等



- ＜資金ニーズへの対応＞
- 成長基盤分野への資金供給
 - ABL
 - 私募債 等

本業支援への取組み
(成長支援活動・経営改善等支援活動)



WIN-WINの関係構築

地域経済の活性化

地域の面的再生への積極的な参画

＜観光を核とした地域間連携＞

- 津軽海峡経済圏(青森県と北海道南)の地域活性化に向けた積極的な取組み
(旅行商品の造成、交流事業の実施)
- 外国人観光客の誘致に向けた積極的な取組み
(受入態勢の整備、プロモーション等)

＜アグリビジネスに対する取組強化＞

- 『食』関連産業に対する販路拡大支援
・アグリセミナー、商談会の開催
・通販カタログ「地方からの贈り物」継続参加
- 農業を中心に商流を構成する産業の連携支援と新たな付加価値の創造を目指した活動の展開
- 業務推進協定先との連携具現化(弘前市・平川市・南部町)